

第1回 北上川上流ダム再生環境影響評価技術検討委員会 議事概要

(事務局説明を除く、質疑応答について記載)

(○：委員、●：事務局)

1. 資料-1 設立趣意書 (案)

- ：四十四田ダム周辺の植生に係る文言について、「生育」だけではなく「発達」という表現も加えて修正して欲しい。
- ：ご指摘のとおり、適切な表現に修正する。

2. 資料-3 公開要領 (案)

- ：議事概要は、具体的な発言者が特定されず、議事概要として公開されるという認識で良いか。
- ：認識のとおりである。
- ：本委員会の委員名は公表となるのか。
- ：公表予定である。

3. 資料-4 説明資料

- ：本委員会の設置年数は、どの程度の期間を想定しているのか。
- ：令和7年までの4年程度を想定している。
- ：原石山における採取量はどの程度か。
- ：現時点ではロック材として3万立方メートルを予定している。
- ：原石山における採取面積はどの程度か。
- ：現時点では不明であるが、当該箇所は現在のダム建設にあたり50年前に採取した場所を予定している。しかしながら、大分風化が進んでいるため、採取面積を広く検討する必要があると考えている。
- ：現在の原石山における植生はどのような状況か。
- ：未調査であり、状況が把握できていない。
- ：昔この場所は草刈り場として利用され、1990年ぐらいまで毎年野焼きが行われていた。その後、地元住民がヤマザクラを植えて、現在はサクラパーク姫神（公園）となっている。
- ：雫石川で予定されているフィルター材採取はどのように行うのか。周辺では動物重要種の生息記録もあるので、それらへの影響がないように配慮して欲しい。
- ：フィルター材採取は河川敷において行う予定である。採取にあたっては、環境調査結果を踏まえて、重要種への影響のない範囲で行う等、今後検討していく。

- ：原石山周辺では、電力事業者による環境影響評価が行われていることから、参考にする
とよい。また、当該地域の周辺は特徴的な地形となっており、植物重要種も確認されて
いることを認識しておいて欲しい。
- ：ダム貯水池運用にあたり、調査期間中に最低水位程度まで下げることはあるのか。
- ：大きな工事が行われない限り、最低水位を下回ることはない。
- ：水位変動域の調査実施にあたっては、水位が下がった状態で行うよう（水位の上昇によ
り水位変動域の状況把握が困難とならないよう）、留意して欲しい。また、ダム湖周辺
の植生の把握に際しては、水位に応じた UAV 写真等を活用する等、お願いしたい。
- ：景観調査で行っている写真撮影の撮影機材、時間、目的等を教えて欲しい。
- ：後ほど情報提供を行う。
- ：撮影した写真は、本委員会においてスクリーン等に映し出して確認することになるため、
現場での眺望景観の再現を意識した写真撮影をお願いしたい。
- ：承知した。
- ：四十四田ダムの堆積物中にはヒ素が含まれている。環境影響評価にあたっては、ヒ素に
関する安全性を示すためにも、今後、どこかのタイミングで堆積状況等を説明して欲し
い。
- ：第 2 回委員会では現地視察も予定しており、その際に詳しい状況等を説明する。
- ：原石材料の調達方法については、予定地以外の材料採取も継続して検討して欲しい。ま
た、本委員会の任務には該当しないが、流域治水の考え方も踏まえつつ、ダムによる効
果がより向上するような配慮も引き続き検討して欲しい。